

4月8日 始業式での言葉

西小学校のみなさん、おはようございます。
新しいお友達485人、先生方50人がそろって、新しい1年が始まりました。
新しい学年になった皆さんの心は、今、ドキドキ、ワクワクしていることでしょう。
私は今、元気な皆さんたちに、2週間ぶりに会えて、嬉しい気持ちでいっぱいです。
私は、皆さんが今年1年、「すべては西小の子供たちの幸せのために」を合言葉に、楽しく幸せに過ごせるように、先生方と一緒に頑張ります。

私からは、新しい年度のはじめということで、まずは西小の目標をお話します。
西小の目標は「やさしく・かしこく・たくましく」です。
先日、皆さんがさらに、やさしい子 かしこい子 たくましい子になるように、みんなで頑張ろうと先生たちで話し合いました。

さて、「やさしい子」とはどんな子でしょうか。
私は、お友達も、そして自分も大切にできる子だと思います。
お友達が嬉しく楽しく思えるように、自分も嬉しく楽しく思えるようにどうしたらいいかなと考えて、それを行動にうつせるのがやさしい子だと思います。

「かしこい子」とはどんな子でしょうか。
お勉強の内容がよくわかり、テストの点数が高い子。
もちろんそれもありますが、それだけではありません。
先生が「何かをやりましょうね」といったときに、やりたいなとか、おもしろそうだなと思って、やってみようと思える子。
また何か難しいことに出合った時に、頭を働かせてどうしたらよいか考えられる子。
それがかしこい子だと思います。

「たくましい子」とはどんな子でしょうか。
力があるということや、健康であるといった、体の強さがある子。
でもそれだけではなく、例えば何か上手くいかないときに、すぐにもう駄目だとあきらめたり、すねて放り出したりすることなく、くじけずあきらめない心の強さのある子。
強い体、強い心をもって初めてたくましいとなります。

ここまで聞いて、皆さんは、いま、やさしい かしこい たくましいといったことが、おおかたイメージできましたね。
このようなことをここに全員が目指して今年一年、励んでほしいと思っています。

このことに関連して、さらに少し付け加えます。
ある人がこんなことを言いました。
優しくね。
優しいことは強いことなのよ。と

またある人はこう言いました。
「強くなければ生きていけない 優しくなければ生きる資格がない」

優しいということは、人として生きる上で、とても大切なことであると同時に、それは強い

ことでもあると言っています。

私も、優しく振舞うというのは、実はとても賢いことだと思います。
自分の振る舞いが、人にどんな風な思いを抱かせるかが分かるというのは、とても賢い
ことで、そういうことを「浅はか」の反対で、
難しい言葉では、「思慮深い」と言います。
思慮深くあることは、人が生きていく上でとても必要なことです。

だから、校長先生は皆さんに特に、優しさをたくさんもってもらうようになってほしいと考
えています。

さて話は変わりますが、今日皆さんに教科書というお勉強の本をたくさん
お渡しします。
これは、働く人たちが一生懸命働いて得たお金を出して用意してくれたものです。
教科書には
「どうぞこれを使って、これからもずっと幸せに生活していける力をつけてくださいね」と
い期待と温かな気持ちがたっぷり詰まっています。

ぜひ、やさしくかしくたくましくなるために、大事に使ってください。